



雑草を丸刈り一掃

KOMERIの除草剤 マルガリーダ®



1年生雑草から頑固な多年生雑草を一掃



グリホサート液剤



適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地域	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	雑草生育期 (草丈30cm以下)但し、 収穫14日前まで	250~500 ml/10a	通常散布 100ℓ/10a 少量散布 25ℓ/10a	2回以内			2回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a					
水田作物	水田耕起前		雑草生育期 (耕起20~10日以前)		100ℓ/10a	1回			1回
水田作物、 畑作物 (休耕地)	休耕地	一年生雑草	雑草生育期 (草丈50cm以下)	250~500 ml/10a		2回以内			2回以内
		多年生雑草	雑草生育期 (草丈30cm以下)但し、 収穫7日前まで	500~1000 ml/10a	通常散布 50~100 ℓ/10a 少量散布 25~50 ℓ/10a	3回以内			3回以内
果樹類 (キウイフルーツ、 パイナップルを 除く)			雑草生育期 (は種7日以前)						
だいず			雑草生育期 (草丈30cm以下) (は種後出芽前まで)			2回以内			2回以内
えだまめ			雑草生育期 (は種10日以前)						
大麦			一年生雑草	250~500 ml/10a					3回以内
麦類 (大麦、小麦を 除く)			雑草生育期 (草丈30cm以下) (耕起10日以前)		100ℓ/10a	1回			
小麦			多年生雑草	500~1000 ml/10a					1回
キャベツ だいこん かんしょ			一年生雑草	雑草生育期 (耕起7日以前)					
はくさい			雑草生育期 (耕起7日以前)	250~500 ml/10a	通常散布 50~100 ℓ/10a 少量散布 25~50 ℓ/10a	3回以内			3回以内
ねぎ たまねぎ			雑草生育期 (耕起7日以前)又は 定植後発芽処理 但し、収穫30日前まで						
さとうきび (春植え)			多年生雑草	雑草生育期 (耕起10日以前)	500~1000 ml/10a	1回			2回以内
系			雑草生育期 但し、摘採7日前まで		少量散布 25~50 ℓ/10a				
花木			一年生雑草	雑草生育期	250~500 ml/10a	4回以内			4回以内
			雑草生育期		通常散布 50~100 ℓ/10a 少量散布 25~50 ℓ/10a				
牧草	牧野、草地 (更新・造成)		多年生雑草	雑草生育期 但し、更新・造成の 10日前まで	500~1000 ml/10a	50ℓ/10a			
			一年生及び 多年生雑草	耕起整地後: 雑草発生前期 (は種10日以前~ は種当日)	250~500 ml/10a	少量散布 25~50 ℓ/10a	1回		2回以内
樹木等	公園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等		一年生雑草	雑草生育期	500 ml/10a	通常散布 100ℓ/10a 少量散布 25ℓ/10a	3回以内	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉散布	3回以内
			多年生雑草		1000 ml/10a				
林木	造林地 (地ごしらえ)	ススキ、ササ類、 スズ等の 多年生雑草、 落葉雑草かん木	生育盛期以降		20~30 ℓ/10a			雑草木 茎葉 散布	



上手な使い方

- 散布は、雑草の生育盛期に
一年生雑草:
草丈が15~30cmになった頃に散布すると安定した効果がえられます。
- 多年生雑草:
根まで枯らすためには、生育盛期~開花期前までに散布するのが効果的です。
- 10アール当たりの散布薬量および散布水量
(雑草の種類や生育ステージにより適量を設定)
一年生雑草が優占する場合:
250~500mlの薬液を50~100Lの水に希釈して散布
多年生雑草が優占する場合:
500~1,000mlの薬液を50~100Lの水に希釈して散布
- 散布方法
噴霧機もしくはジョロで茎葉全体がムラなく、しっとりぬれる程度に散布して下さい。

効果・薬害等の注意

- (1)使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ること。
- (2)本剤は、グリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
- (3)泥などで濁った水は効果を低下させるので本剤の調整には用いないこと。
- (4)展着剤加用の必要はない。
- (5)本剤は土壌中で速やかに不活性化するので、雑草の発生前処理効果はない。
- (6)本剤は散布時の雑草の草丈や茎葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないこと。
- (7)本剤は通常2~14日で効果が発現し、効果完成までさらに日数を要するので、誤って再散布しないこと。
- (8)多年生雑草のうち、スギナには効果が劣るので留意すること。
- (9)処理後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めてから散布すること。
- (10)少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布すること。
- (11)水田への飛散、流入等により水稲に薬害を生ずるので、十分注意すること。
- (12)特に野菜類の生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないよう十分注意して散布すること。
- (13)農作物や有用植物に薬液が付着すると、激しい薬害が生ずるので、かからないよう十分注意すること。
- (14)本剤の調整及び保管に際しては合成樹脂の内層のない鋼鉄製(ステンレスを除く)の容器類は使用しないこと。なお散布液を調整した容器及び散布器具は、使用後十分に水洗いすること。
- (15)本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (16)土壌が流したり、くずれたりする恐れのある所では使用しないこと。
- (17)公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことにご注意すること。
①水源地、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意すること。
②散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。

除草効果を上げるために

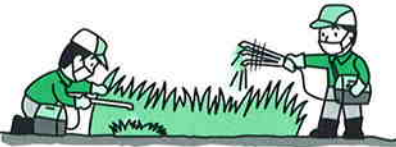
●雑草発生後に散布!

(雑草発生前の散布は、効果がありません。)薬剤を雑草の茎や葉に付着させることが効果を発揮させるための条件となります。



●散布はムラなく!

草丈の異なる雑草が混生している所では、草丈の小さい雑草にも十分散布してください。



●きれいな水を使用!

ドロなどの含まないきれいな水を使用してください。(効果が十分発揮されない要因となります。)



●雨天時の散布は避ける!

散布後6時間以内の降雨は、効果を低下させる要因となります。



●散布前/散布後7~10日間は雑草を刈らない!

茎葉部から薬剤が吸収されるため、十分な茎葉面積と時間が必要となります。



●ラベルをよくお読み下さい。●記載以外には使用しないで下さい。●小児の手の届く所には置かないで下さい。

®は住商アグロインターナショナル株式会社の登録商標です。

発売元:株式会社 コメリ 新潟県新潟市南区清水4501-1

製造元:住商アグロインターナショナル株式会社

<http://www.komeri.com/>

東京都中央区晴海1-8-12 TEL03-6221-3012